

めぐるYouthミーティング

目黒区子ども条例の理念に基づき策定している「目黒区子ども総合計画」。令和7年度に新たに策定することを踏まえ、高校生から若者、いわゆるYouth世代を対象に若者の独自の視点で、普段感じていることを聞きました。

日時：2024.7.6 (土)13:00～14:50

場所：オンライン

Youth参加者：よこやま/てん/まりか/せり

学習スペースの確保

特に中高校生はカフェやファミレス、区の図書館では時間制限や席数の制限があり、十分な勉強時間と場所が確保できていない。大学生になると大学のラウンジ等を利用できるようになるが、区民が優先される予約システムや区で勉強用のスペースを運営することもいいと思う。



公教育の充実

海外留学を家庭の力に左右されずに挑戦できる機会を平等に与えてほしい。海外留学や研修はその後にもつながる経験を得られる。また学校の授業だけでは難関校になればなるほど難しくなると思う。経済的に塾に行けない子どもに対しての支援策が必要だと思う。



自転車環境の整備

自転車は車道を走ろうとなっているにも関わらず路上駐車や植栽の影響で安全に走行ができなくなっていると思う。自転車専用レーンの設置をしてほしい。歩道が狭く登下校の小学生も危険にさらされている。また駐輪場の整備も不足していると思う。



目黒区の特性

目黒区に住んでいると周囲に伝えると、「いいところに住んでいるな」と言ってもらえるブランド力がある。交通の便も良く、自然や小さな店もある。逆にそのブランド力や住民の経済力に甘え、課題が埋もれてしまっているとも感じる。



Youth の意見

意見公募の在り方

直近では学校名について公募で意見を聞いていたが、最終的にはありきたりの学校名になってしまっていた。公募で集まった意見や学校に通う当事者の意見が反映されていないと感じた。



広報の在り方

区の公式LINEアカウントを活用すると今の若者世代にもリーチができると思う。他自治体でもアンケートやアンケート結果の共有など有効的に活用している事例もある。またTikTokやInstagramなど若者が使用するSNSも活用するとリーチできると思う。



災害対策

目黒区には木造密集地域があり、災害時の対策が地域住民にどこまで浸透しているのかが気になる。新しくできた防災公園では災害用の備蓄物を定期的に配布をしていて地域のつながりができていることが良いと思ったが、その担い手も高齢者ばかりであった。



店先での喫煙問題

路上喫煙や歩きタバコは禁止と謳っているが、店先での喫煙OKは実際どうなのか。飲食店密集地域やタバコ店の近くに学校があると子どもたちは少し迷惑ではないのか。ショッピングモールなどにあるたばこ専用スペースなどを設けるといいと思う。



今回はご参加いただきありがとうございました。いただいた意見は「目黒区子ども総合計画」の策定に向けて参考にさせていただきます。どのように反映されたかをまた報告しますので楽しみに待ってください。

目黒区子育て支援課